



血は清濁の成る

子世誤覚は今日

は會合の趣小生も必

寸出さ席う代答に以て

病臥床中特に

東上の動搖を志むの

二病疾より心造癒

欠席の請ふ旨を以て

以て謝状上

外交問題の自叙言も

為すに南は第一



外交問題の自軍言を

為すに當ては第一

國民の後援なき主義

方針なき無能薄弱

たる内閣に對し外交上

の成效を望むの要は

るを明言し

第一には

右の如き内閣に依り

進去既^{中絶}外交の大

事を^も過てり^に行^は滿^朝韓

の近情^に對^して

膏肓者の態度^に對^して

家を救ふ可からざるの

危険に陥るゝものとす

ることを警告し

第一には是故に

るべきを警告せし

其の三には是故に

○我々の時局は^{目下}韓、越、

危急の情態と之に對す

る南向の緩慢を天下公

衆に訴へ陳言論を喚起

して之と共に國家の禍

難を救済せんとすべし

趣旨を定言すべし

右は參考考定の概に

要し、我々の言説

は深く謹みしを察す可

き言に即ちとみ考へ一

七月一日

大隈

大隈伯

難を救済せんとするの
趣旨を定言すべし

右は参考考じの歌に

あやしく敬其の荒禱

は深く謹み七祭事可

まじりに此中とある考一紙

七月一日

迄

大隈伯

各は所領外を以て子孫國

年稿中の所領外を以て

領外を以て